

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第6回目 12月中旬～1月中旬 10:00～10:30

康保会乳児保育所

1. 活動のテーマ

テーマ

・光テーブルを体験してみよう

テーマの設定理由

・懐中電灯を使用した光遊びや、サンセリーボトルやカラーセロハンを使用した色が壁や天井に映るなど、色々な光遊びを体験してきた為、光テーブルではどのような興味を示すか。

2. 活動スケジュール

・全園児に体験してもらう為クラスごとに活動する日を決め、色々な玩具を準備し子ども達がどのように遊ぶかを観察する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

1Fキラキラルームを使用

・光テーブル2台 ・磁石付きピタゴラス ・うちゅうじんのたまご ・紙皿の玩具 ・紙コップライト
・懐中電灯

4. 探求活動の実践

活動の内容

・光テーブルで色々な玩具を光らせて、影が出来たり、色が映ったり、光が下から当たる事による、玩具の見え方の違いを体験してみる。

・月齢による反応や遊び方の違いや共通点があるのか。

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり

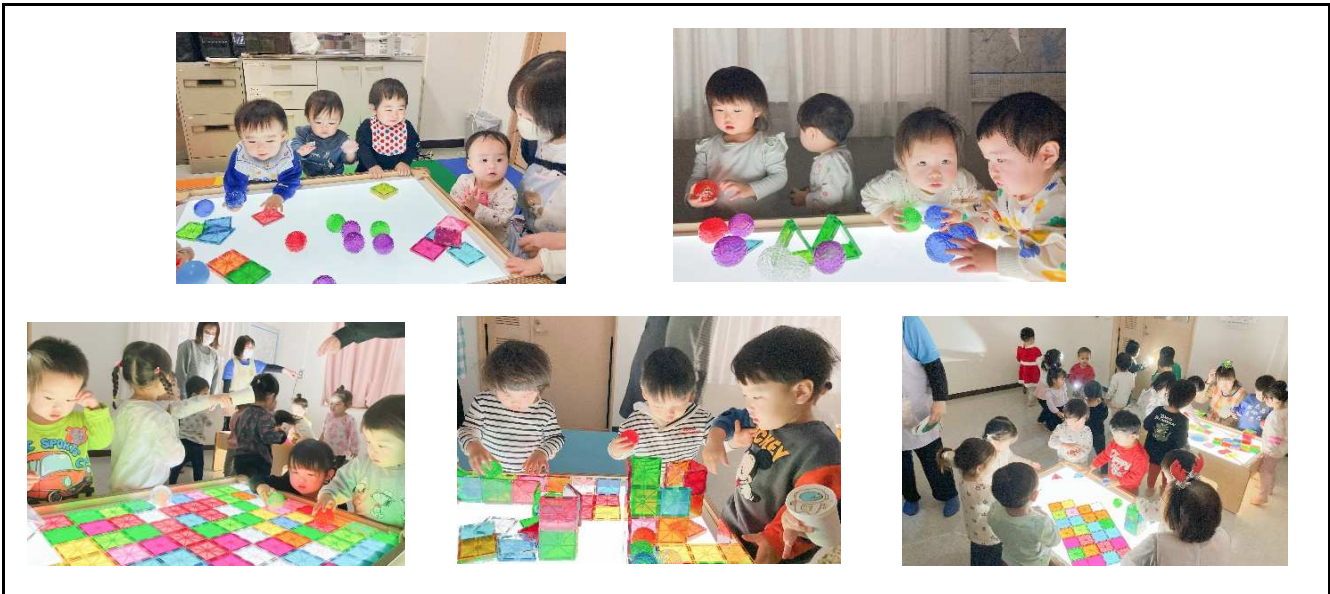
<0歳児クラス>...テーブルの高さが丁度良く、立って遊べる子も保育士の膝の上に座ってる子も手を伸ばして、うちゅうじんのたまごを触ったり、転がして遊んでいた。部屋を暗くした際には、テーブルが光っている事に興味を示していた。

<0,1歳児混合クラス>...積極的に玩具に手を伸ばして遊んでいた。また室内を暗くしても怖がる子もいなかった。

<1歳児クラス>...'キラキラ'等と保育士と会話しながら遊んでいた。ピタゴラスを組み立てるだけでなく、テーブルの上に敷き詰めて、彩を楽しむ等の子どもならではの発想で遊んでいた。

<2歳児クラス>... テーブル上でピタゴラスや卵を紙皿等に乗せて、「光ってる」「綺麗だね」等会話しながら遊んでいた。これまで何度か使用していた懐中電灯での遊びも一緒に楽しんでいた。

活動中の様子



5. 振り返り

振り返りによって得た保育士の気づき

- ・これまで数回光遊びを行ってきたので、各クラス子ども達が光に対する興味が深まっていて、積極的に遊んでいた。
- ・0歳児は色彩よりは動く物に興味があるので、光や影の動きに注目が集まっていた。
- ・1～2歳児になると、色にも興味を示し色々な角度で光をあて、影の動きや形が変わる事にも関心を持つようになったり、色に対する興味も深まっていた。
- ・クラス職員が全員光遊びに関わる事で、普段の保育の中での遊びに「光遊び」を意識して取り入れ、子ども達の中でも「光遊び」が浸透し、色々な場面で影や色等に気付くようになった。
- ・1日の様子で「光遊び」の写真を掲載する事で、保護者からも「家に懐中電灯があるので、家でも光遊び楽しみました」等の感想を頂き、家庭での遊びの広がりにも繋がった。